

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	706000	TEL	2998-9126
事業コード	障害児保育事業	保育幼稚園課				
070507		グループ	育成グループ			
開始年度		平成3	年度	→	終了年度	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市子ども・子育て支援事業計画			所沢市混合保育実施要綱 所沢市障害児保育事業補助金交付要綱
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 子ども支援	基本方針	子どもの育成支援の充実
事業開始の背景	昭和55年厚生省の指導で、保育に欠ける障害児の保育園での受入れを推進する方針が示された。これを受け市立保育園では障害を有する園児の保育を実施した。				

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	障害のある児童を健常児と共に保育をして、お互いの成長の促進をさせるための事業。平成24年度から障害児保育事業と障害児補助事業を1本化した。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	47 園
	認可保育園・私立幼稚園			平成 27 年度	40 園
事業の具体的な内容及び実施方法					
①障害を有するが、健常児の中で過ごすことにより、成長発達が進められると混合保育入園審査会で判定された児童。 ②民間保育園(公設民営を含む)・民間幼稚園から対象児童の状況を添付した交付申請書が提出され、観察保育を実施し補助金交付の適否を決定する。 ③補助金は障害児担当保育士等の雇用費として対象障害児一人当たり月額 ・保育園(特別児童扶養手当受給対象児童、混合保育対象児童)94,000円、・保育園(その他)80,000円 ・幼稚園21,300円					

④経費	《会計種別》	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		198,591	198,442	224,842
	決算(見込み含む)		195,497	197,821	
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(1.00 人) (56.00 人)	(1.00 人) (55.06 人)	※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	正規職員人件費	20.49 人 178,693	21.42 人 185,497		
	事業費合計	374,190	383,318		
財源内訳	373,710	382,358	224,122		
	一般財源				
	国・県支出金	480	960	720	
	その他()				

⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	公立保育園混合枠受入れ数	公立保育園 混合保育入園児童数	人	94	98	110	110
		民間保育園・幼稚園の補助対象児童数	障害児保育補助対象児童数	人	137	155	152	155
		受入れ施設数	認可園・民間幼稚園数	園	47	40	45	47

⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	対象となった障害児数	混合保育審査会・及び補助金対象児と判定された児童数	人	目標値	242	278	280	290
					実績	231	253	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています			%	達成率	95	91	↑どちらかをチェックしてください	

⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	混合枠児童やその他発達に何らかの問題を持つ児童を対象とした、巡回指導をおこなっているが、平成27年度は延べ1,800人を対象とした巡回を実施している。混合枠児童等の入園は年々、増加している中、保育者の対応の向上への効果につながっている。	混合への申請が増える中、受け入れる保育園を増やしていけることが当面の課題である。特に5歳児の入園は、すでに多く入園しているため、難しくなっている。

⑧評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	混合保育、民間保育園が対象の障害児補助金ともに、申請が年々増加している状況にあり、発達に何らかの問題を持つ児童は、今後も増加していくと考えられる。
	次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	上記の理由により、拡大していくことが必要である。
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
障害児補助金の申請児童の観察保育等を進めている。混合保育児童は昨年度よりもさらに増加しており、公立園では、ほとんどの園で、6名以上の混合枠児童が在園している状況にある。		公立保育園での混合枠児童の受入れにも限界があるので、民間園への受入れの拡大は不可欠である。		
評価日	H27.8.10	評価者職氏名	保育幼稚園課長 町田 真治	

⑨環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙の使用	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無